

2019. 10. 8

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2019年 上半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2019 年上半期)

2019 年上半期（1～6 月）のわが国の景気は、堅調な民間企業の設備投資、雇用・所得環境の改善などのプラス要因があったものの、米中貿易摩擦等の影響もあり、中国経済に不透明さが増していることなどから輸出環境が悪化、全般的に景気に足踏み感がみられた。

このような中、化繊需要は、衣料用は、一部スポーツ、ユニフォーム等を中心に堅調に推移した分野はあったものの全般的に国内販売は低調に推移した。家庭・インテリアは、主力の衛材用途の息切れで伸びが鈍化、産業資材用途は全体として堅調に推移した。

国 内

1) 衣料用：2019 年上半期の百貨店/量販店の衣料品売り上げは、改元に伴う GW などのプラス要因はあったものの、天候不順の影響などもあり衣料販売が不振となり、全般として低調に推移した。

家庭・インテリア用：新規住宅着工は前年割れが続いたことで、インテリア需要は低調。一方で、生活資材用は堅調続く。衛材用はおむつ輸出の減少の影響を受け、苦戦している。

産業資材用：2019 年上半期の自動車生産が堅調なことで、自動車関連部品の需要は安定。土木資材用、建築資材用は好調な建築受注で堅調となった。

繊維需要関連の各種指標

(前年比増減：%)

	家計 消費	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2015	-7.2	-3.4	-2.1	-5.1	1.9	6.9
2016	-6.0	-5.8	-5.2	-0.8	6.4	5.7
2017	-0.9	-2.2	-2.3	5.3	-0.3	-3.1
2018	-0.2	-3.1	-5.3	0.4	-2.3	0.1
2019 上半期	-0.8	-3.2	-5.9	3.1	-0.2	5.7

2) 生産指数は、繊維工業全体では、2019 年第 2 四半期は 92.4 と前年同期（95.8）に比べ、3.4 ポイント下落した。

業種別には、織物は堅調であったが、繊維、繊維製品・粗製品の下落幅が大きくなった。

繊維工業の段階別生産指数

(2015=100)

	繊維工業 全体	繊維	織物	染色整理	繊維製品 粗製品
2018年 第1四半期	95.6	94.9	94.7	100.4	94.6
2018年 第2四半期	95.8	95.4	96.2	101.3	93.3
2018年 第3四半期	93.7	92.5	96.3	98.9	91.3
2018年 第4四半期	94.9	93.5	97.4	100.2	92.7
2019年 第1四半期	94.0	91.4	100.3	98.7	90.6
2019年 第2四半期	92.4	89.9	100.4	98.6	87.0

- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで39.9億ドル・前年同期比（以下同じ）0.7%減、一方、円ベースで4,391億円・0.7%増。2019年は、米中貿易摩擦の激化、中国景気の鈍化、英国のEU離脱の動きなどのリスク要因があり、輸出環境は不透明感を増している。

形態別（円ベース）では、繊維原料527億円・2.5%増、糸類572億円・7.9%減、織物1,317億円・0.5%増、二次製品他1,976億円・3.0%増。

仕向地別（円ベース）では、全体の28%のシェアを占める中国が2.6%減の1,247億円。韓国（2.2%増）、台湾（14.0%増）、香港（7.9%減）、アセアン地域は、ベトナム（5.8%増）中心に好調、シェアは26%と中国に接近している。米州は3.0%増、欧州は、2019年2月の日EU EPA発効による効果もあり、全体で6.3%増となった。

- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで197.3億ドル・前年同期比（以下同じ）1.1%減、一方円ベースは1兆7,930億円・0.2%増。

形態別（円ベース）では、繊維原料381億円・2.7%減、糸類652億円・3.7%減、織物790億円・3.7%増、二次製品他1兆7,910億円・0.2%増。

仕出地別では、全体の54%を占める中国が4.4%減の1兆694億円、韓国（2.1%増）、台湾（6.9%減）となった。アセアン地域は、ベトナム（9.0%増）中心に全体で6.9%増、シェアは28%となった。それ以外では、イタリア（6.2%増）、フランス（6.9%増）、ドイツ（2.3%増）、米国（2.8%増）となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2017.1-6	2018.1-6	2019.1-6	2018年比(%)	2017年比(%)
輸出	千ドル	3,782,619	4,019,552	3,990,255	-0.7	5.5
計	百万円	424,374	436,275	439,138	0.7	3.5
繊維原料	百万円	51,281	51,443	52,710	2.5	2.8
糸類	百万円	60,519	62,064	57,150	-7.9	-5.6
織物類	百万円	131,705	130,987	131,676	0.5	0.0
二次製品他	百万円	180,870	191,781	197,601	3.0	9.3
輸入	千ドル	16,954,472	18,136,625	17,930,042	-1.1	5.8
計	百万円	1,906,029	1,970,187	1,973,242	0.2	3.5
繊維原料	百万円	36,115	39,135	38,094	-2.7	5.5
糸類	百万円	66,079	67,698	65,164	-3.7	-1.4
織物類	百万円	73,724	76,153	78,972	3.7	7.1
二次製品他	百万円	1,730,110	1,787,200	1,791,013	0.2	3.5
(うち衣類)	百万円	(1,423,917)	(1,474,165)	(1,464,890)	-0.6	2.9
輸出レート	円/ドル	112.2	108.5	110.1	1.4	-1.9
輸入レート	円/ドル	112.4	108.6	110.1	1.3	-2.1

(出所) 財務省

5) 2019年上半期の化繊生産は前年同期比6.9%減の41.6万トンと続落した。うちセルロース繊維は同7.3%減の8.6万、合繊は同6.8%減の33.0万トンであった。

合繊生産を品種別にみると、ナイロンFは同15.5%減の3.9万トン、ポリエステルFは同0.6%減の5.8万トン、同Sは同0.8%減の4.2万トン、アクリルSは同5.9%減の5.7万トンとなった。

6月末在庫は前年同期比6.1%増の9.4万トンとなった。うちセルロース繊維は同10.1%増の2.4万トン、合繊は同4.8%増の6.9万トンとなった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は前年同期比2.1%減の26.2万トンとなった。

形態別は、繊維原料は同1.2%減の9.8万トン、糸類は同14.3%減の5.3万トン、織物類(面積ベース)は同0.7%減の3.10億㎡、二次製品は同6.5%増の6.3万トンであった。

品種別は、セルロースSは前年同期比39.4%増、ナイロンFは同30.4%減、ポリエステルFは同9.1%減、ポリエステルSは同10.0%増、アクリルSは同4.9%減となった。化繊不織布は同5.3%増の2.6万トンとなった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は前年同期比0.1%増の73.8万トン。

形態別は、繊維原料は同0.4%増の5.2万トン、糸類は同5.0%減の10.8万トン、織物類(面積ベース)は同6.6%増の3.41億㎡、二次製品は同0.3%増の50.8万トン、そのうち衣類は同2.7%減の20.4万トンとなった。

品種別は、セルロースSは同3.2%減、ナイロンFは同6.6%増、ポリエステルFは同5.1%減、同Sは同0.1%減となった。化繊不織布は同2.4%減の11.4万トンとなった。

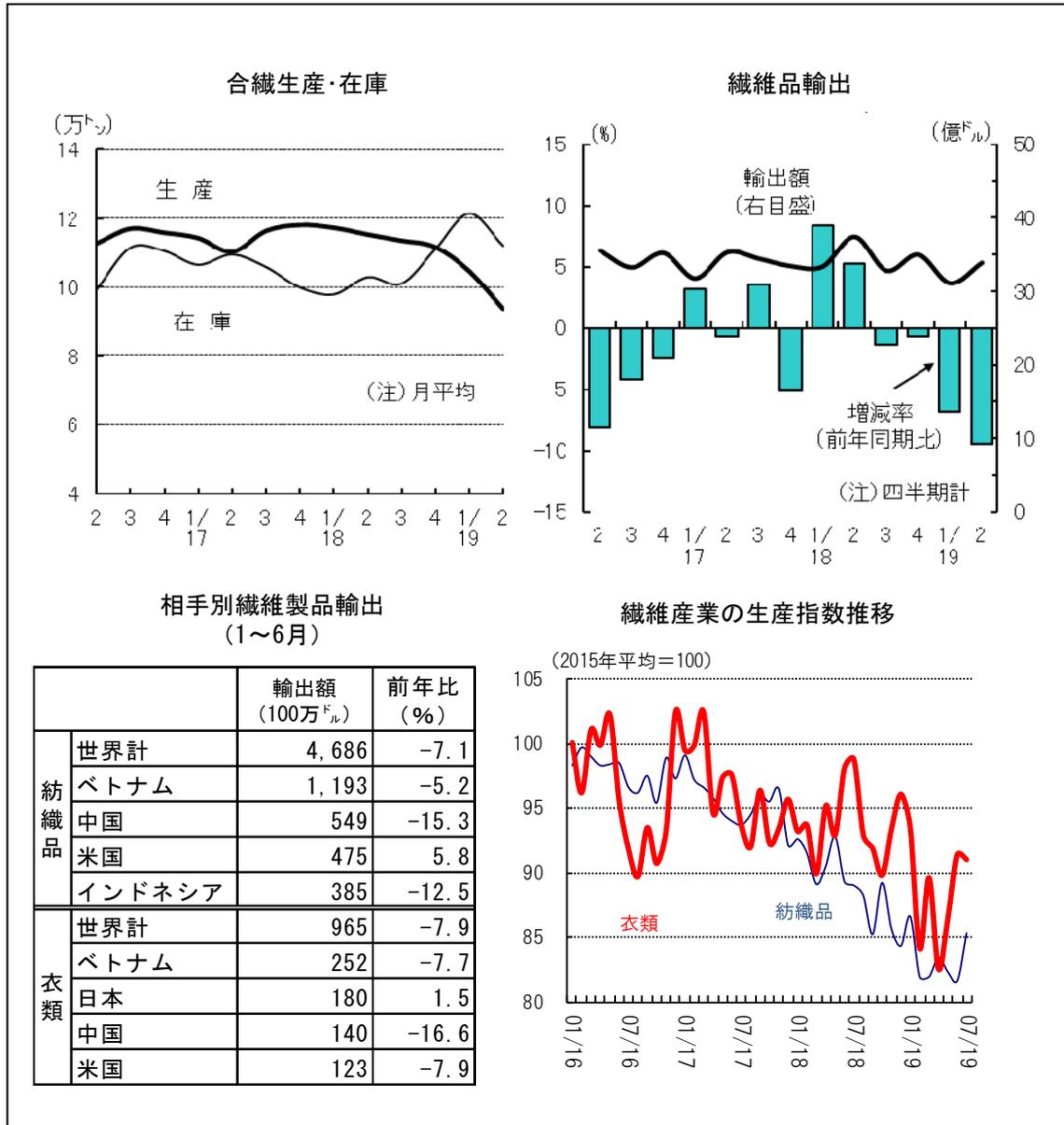
化学繊維の主要指標

項目	単位	2017.1-6	2018.1-6	2019.1-6	2018年比(%)	2017年比(%)
化繊生産	千トン	457,262	446,919	416,189	-6.9	-9.0
セルロース	〃	93,602	92,640	85,888	-7.3	-8.2
合 織	〃	363,660	354,279	330,301	-6.8	-9.2
期末化繊在庫	〃	87,592	88,131	93,507	6.1	6.8
セルロース	〃	19,220	22,006	24,225	10.1	26.0
合 織	〃	68,372	66,125	69,282	4.8	1.3
化繊輸出	千トン	270,298	267,597	261,943	-2.1	-3.1
	100万 ^F 円	2,340,118	2,491,156	2,458,028	-1.3	5.0
	百万円	262,562	270,359	270,522	0.1	3.0
繊維原料	千トン	103,470	99,339	98,178	-1.2	-5.1
糸 類	〃	61,240	61,467	52,673	-14.3	-14.0
織物類	百万 ^m ²	301,137	312,223	310,162	-0.7	3.0
二次製品	千トン	54,994	58,917	62,728	6.5	14.1
化繊輸入	千トン	720,734	737,605	738,154	0.1	2.4
	100万 ^F 円	7,378,331	7,564,450	7,467,963	-1.3	1.2
	百万円	829,997	821,915	821,742	0.0	-1.0
繊維原料	千トン	46,455	52,119	52,311	0.4	12.6
糸 類	〃	111,017	114,008	108,334	-5.0	-2.4
織物類	百万 ^m ²	306,652	320,148	341,329	6.6	11.3
二次製品他	千トン	499,222	506,885	508,266	0.3	1.8
(うち衣 類)	〃	214,321	210,003	204,414	-2.7	-4.6

(出所) 経済産業省、財務省

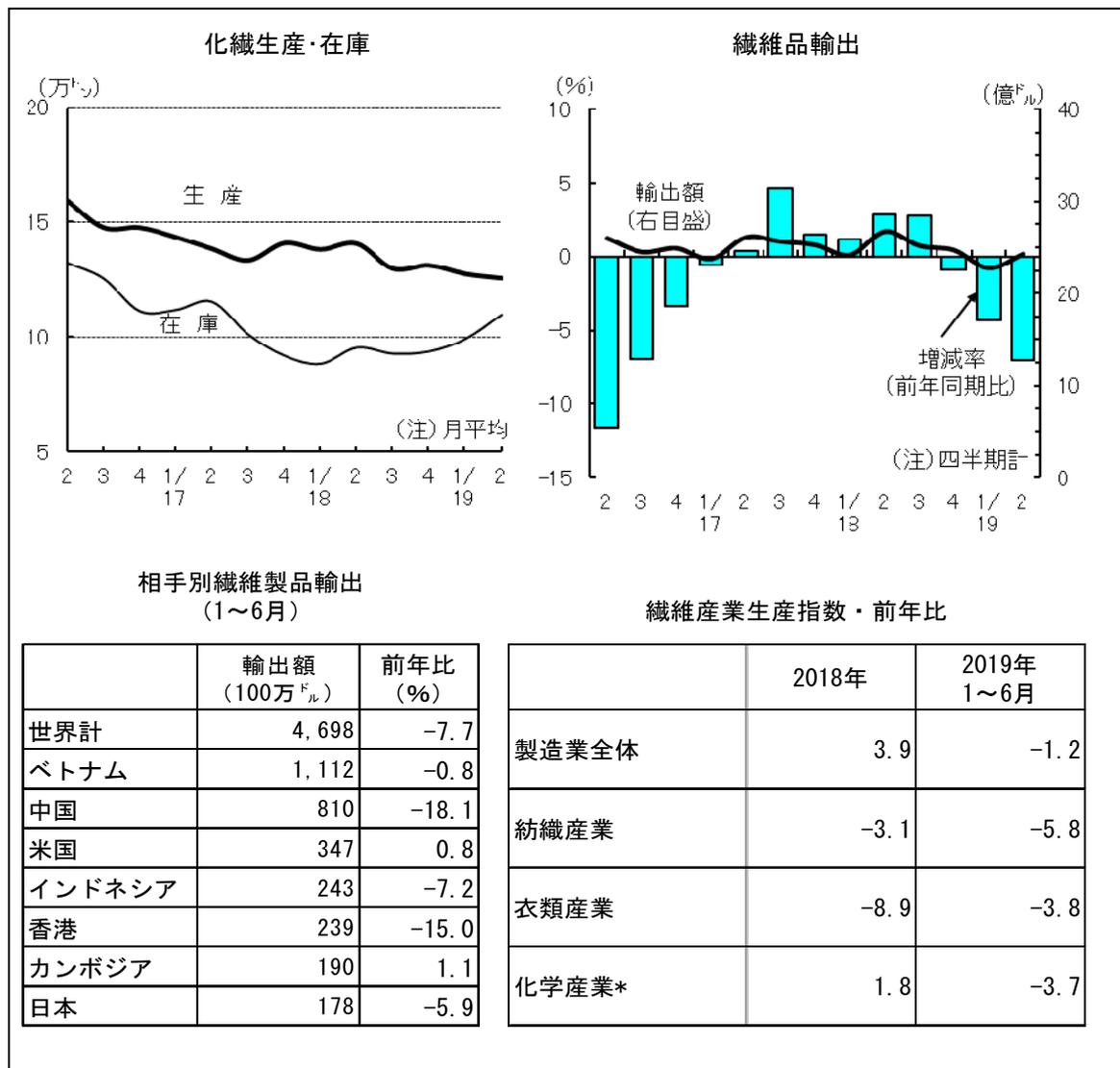
(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

(6) 韓国



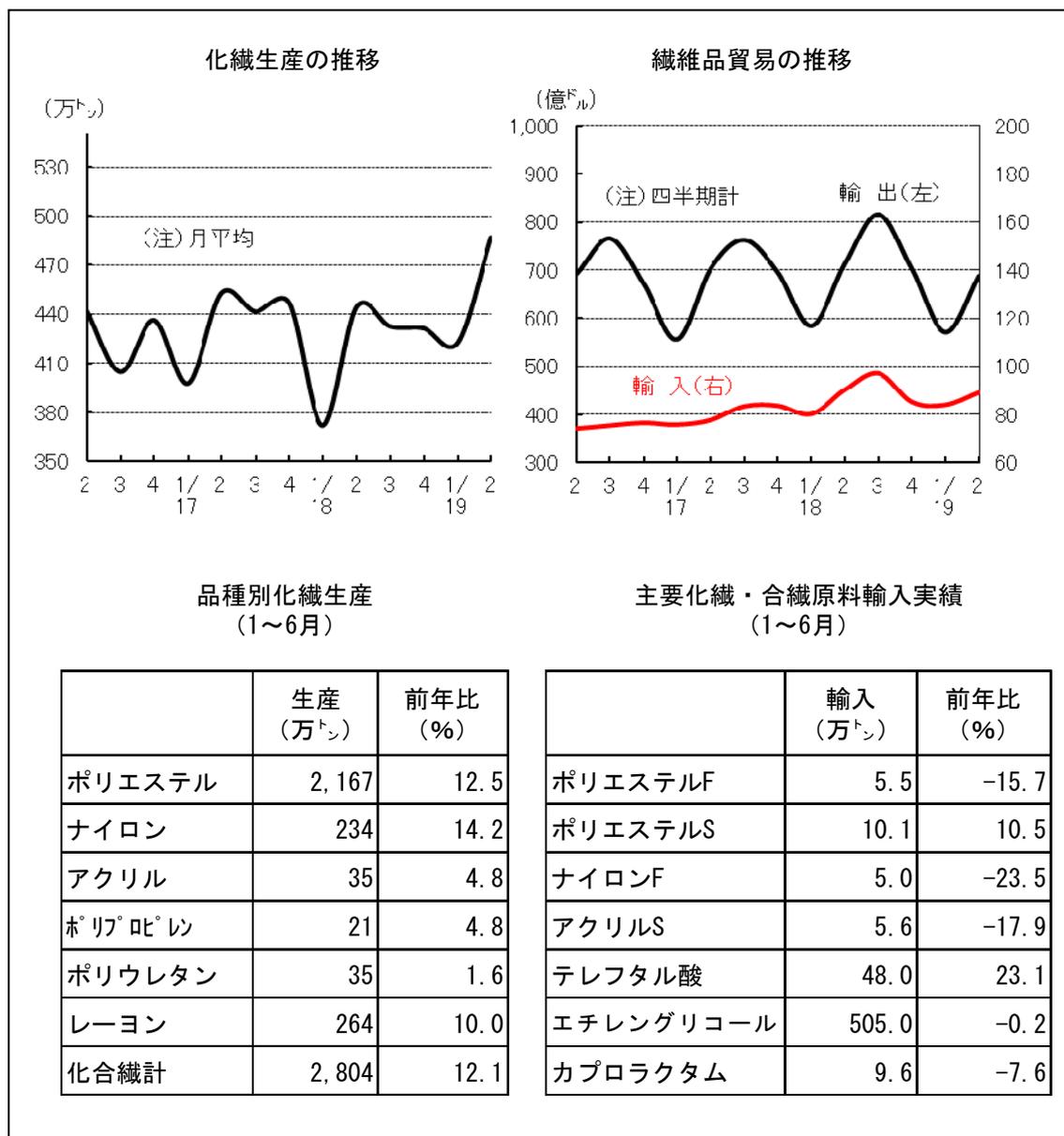
- ◆2019年上半期の化繊生産は減産、繊維品輸出は減少している。
- ◆2019年上半期（1-6月）の合繊生産は前年同期比14.7%減の59.5万トとなった。四半期ベースでは、4期連続の減産となった。上半期の主要合繊の生産では、ナイロンFは同22.3%減、ポリエステルFは同12.9%減、ポリエステルSは同16.6%減といずれも2桁減となった。アクリルSは同2.7%増の2.6万ト。
- ◆2019年上半期の繊維品輸出は前年同期比8.2%減の65.1億ドルとなった。第1、2四半期とも前年実績を下回った。1~6月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品は米国向け、衣類は日本向けを除きいずれも減少した。

(7) 台湾



- ◆2019年上半期は、化繊生産、繊維品輸出とも減少となった。
- ◆2019年上半期の化繊生産は前年同期比9.3%減の75.9万トとなった。四半期ベースでは2019年第2四半期まで11期連続で前年実績を下回っており、規模縮小に歯止めがかかっていない。上半期の主要合繊の生産は、ナイロンFは同3.7%減の12.5万ト、ポリエステルFは同8.2%減の37.7万ト、ポリエステルSは同14.6%減の22.3万トとなった。
- ◆2019年上半期の繊維品輸出は前年同期比7.7%減の47.0億ドルとなった。繊維品輸出を相手別にみると、ベトナム向けは同0.8%減の微減であったが、中国向けは同18.1%の大幅減となった。
- ◆2019年上半期の主要繊維産業の生産指数は、紡織産業、衣類産業ともマイナス成長が続いている。

(8) 中国



- ◆2019年上半期の化繊生産は増産が続いたものの、繊維品輸出は減少に転じた。
- ◆2019年上半期の化繊生産は前年同期比12.1%増の2,804万トとなった。品種別には、ポリエステルは同12.5%増の2,167万ト、ナイロンは同14.2%増の234万ト、アクリルは同4.8%増の35万ト、ポリウレタンは同1.6%増の35万ト、レーヨンは同10.0%増の264万トと、主要品種はいずれも増産となった。紡績糸生産、織物生産は0.1%減、0.3%減と減少に転じた。
- ◆2019年上半期の繊維品輸出は、前年同期比2.9%減の1,260億ドルとなった。一方、繊維品輸入は同1.6%増の174億ドルとなった。

- ◆2019 年上半期の合繊輸入は、ポリエステル S を除き大幅減、合繊原料輸入は、エチレングリコール、カプロラクタムは減少したが、テレフタル酸は増加した。

相手別繊維製品輸出 (1~8月)			繊維業界の主要指標 (1~6月)			
	輸出額 (10億 ^{ドル})	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	171.0	-3.0	企業数	万社	3.35	-
EU	31.3	-4.4	赤字企業数	万社	0.71	11.6
米国	29.6	-0.9	主要業務収入	億元	24,257	3.3
日本	12.3	-3.7	うち化繊産業	億元	4,287	7.1
ベトナム	9.6	-5.7	利潤総額	億元	1,000	-4.2
香港	5.8	-29.0	うち化繊産業	億元	133	-23.1
韓国	4.7	0.6	紡織産業実際投資	前年比	-	-0.3
インドネシア	3.3	4.2	衣類産業実際投資	前年比	-	0.8
インド	3.1	6.2	化繊産業実際投資	前年比	-	-10.6

HS11 部 (50~63 類) のみ

社会小売財消費総額 (限度額以上) (1~6月)				繊維関連物消費者物価指数 (1~6月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億元	195,210	8.4	消費者価格指数・全製品	2.2
うち服装類	億元	6,560	3.0	消費者価格指数・衣類等	1.8

- ◆繊維産業の主要指標は、主要業務収入は前年同期比 3.3% 増と増加したが、利潤総額は同 4.0% 減となった。化繊産業は、生産増により主要業務収入は増加したが、供給バランスの失調もあり、利潤総額は 23.1% の大幅減となった。繊維産業の投資は、紡織産業、衣類産業は前年並みの水準となったが、化繊産業は前年までの大幅増から一転 10.6% 減となった。
- ◆社会小売材の消費総額 (繊維品) は前年同期比 3.0% 増となった。衣類等の消費者物価指数は前年同期比 1.8% 上昇した。

9) 米 国

・輸 入

2019年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比5.0%増の649.0億ドルとなった。仕出地別にみると、最大仕出国の中国が0.8%減の212.0億ドルと減少した一方、ベトナムが13.4%増の83.3億ドル、インドが7.8%増の49.3億ドル、バングラデシュが10.7%増の37.0億ドルと主要仕出国はいずれも大幅に増加した。

上記の繊維品全体に対し、衣類の輸入は6.5%増の488.7億ドルであった。仕出地別では中国が2.3%増の144.7億ドルと増加した。次いでベトナムが13.1%増の78.0億ドル、バングラデシュが11.5%増の35.7億ドルといずれも2桁増となった。

繊維製品輸入実績（1～7月）

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2018年	2019年	前年比(%)	仕出地	2018年	2019年	前年比(%)
中国	21,377	21,196	-0.8	中国	14,140	14,469	2.3
ベトナム	7,346	8,333	13.4	ベトナム	6,903	7,804	13.1
インド	4,569	4,926	7.8	バングラデシュ	3,199	3,568	11.5
バングラデシュ	3,345	3,702	10.7	インドネシア	2,590	2,599	0.3
インドネシア	2,727	2,790	2.3	インド	2,397	2,626	9.6
世界	61,797	64,901	5.0	世界	45,876	48,872	6.5

(出所) 米商務省

・企業動向

- ・ 米大手合繊メーカーInvistaは中国の大手繊維企業集団・山東如意集団と2017年より進めてきたApparel & Advanced textile Businessの売却交渉が完了した。同事業は今後、山東如意集団の子会社The Lycra Companyとして英国やオランダで事業を展開する。
- ・ ブラジルの不織布メーカーFabrill Scavoneはサンパウロ市にニードルパンチ不織布の工場を新設すると発表。同工場の生産能力は月産500トンド、ジオテキスタイル、家具、自動車、フィルター向けに製品を供給する。2020年の稼働開始を目指す。
- ・ ナイロン66繊維、樹脂、コンパウンドメーカーのAscend Performance Materialsは、米サウスカロライナ州Greenwoodのナイロンポリマー工場を増強。同工場では昨年、ナイロンS設備の増設(年産1.1万トン)を実施した。
- ・ 伊ナイロン大手メーカーAquafilは、米ノースカロライナ州の合繊メーカーO'Mara Inc.を4,050万ドルで買収した。O'Mara Inc.はナイロン、ポリエステル、ポリプロピレンを手掛けている。

10) 欧 州

・合織生産

2019年1～5月の合織生産は産資用ナイロンFが1.7%増の5.1万ト、産資用ポリエステルFが4.6%増の6.1万ト（以上、1～5月期）、紡織用ポリエステルFが12.9%減の8.4万ト、ポリエステルSが1.5%増の24.5万トとなった（以上、1～4月期）。

主要合織の生産高

	(1000ト、%)				
	2016	2017	2018	2019	前年比
産資用ナイロンF	46.0	49.7	50.6	51.4	1.7
紡織用ポリエステルF	65.3	75.4	96.2	83.8	-12.9
産資用ポリエステルF*	59.8	62.0	58.6	61.3	4.6
ポリエステルS*	223.2	225.6	241.6	245.2	1.5

(出所) CIRFS

(注) その他の品種は未発表。*ベラルーシを含む。

産資用は1-5月期、その他は1-4月期。

・企業動向

- ・ 大手セルロースメーカーのLenzing Groupは独Hof大学とスパンレース不織布分野での提携に合意。提携期間は5年間の予定。
- ・ 英テクニカルテキスタイルメーカーHeathcoat FabricsはオランダHoneywellの超高分子量ポリエチレン繊維（UHMPE繊維）Spectraの採用を決定。軍事や警察向けのほか、作業用保護衣等で使用される見通し。
- ・ 韓国Hanwhaグループ子会社のHanwha Advanced Materials GmbHは独Bavaria州に自家消費不織布工場を新設。同社は自動車用吸音材等を扱っている。
- ・ スペインのレーヨンメーカーSniaceが増資を決定。新規投資など約3,630万ドルを調達する。
- ・ 米大手合織メーカーUniversal Fibersはポーランドに新設したナイロンF工場の開所式を開催。同工場では欧州域内のカーペット用や自動車用のナイロン6および同66の紡糸から加工まで一貫して手掛ける。
- ・ 米Eastman Chemical Companyはスペインのアセテート繊維メーカーIndustrias del Acetato de Celulosa S.A. (INACSA)の買収で合意。
- ・ EU理事会はEUベトナム自由貿易協定(EVFTA)およびEUベトナム投資保護協定(IPA)に署名。

合繊4品種需要実績(2019年1～6月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2019年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	44,270	94.9	94.6
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	76,753	98.1	98.9
	計 (輸入)	121,023 (66,171)	96.9 (96.1)	97.3 (94.9)
輸出 (原糸、加工糸)		2,917	90.3	96.8
需要計		123,940	96.7	97.2
在庫		9,505	101.0	98.3

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2019年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	10,848	104.4	105.8
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	66,552	98.2	98.9
	計 (輸入)	77,399 (36,840)	99.0 (97.6)	99.8 (99.9)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		3,310	146.1	119.1
需要計		80,709	100.4	100.5
在庫		13,471	100.5	104.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2019年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	11,158	95.9	96.9
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	31,708	99.3	93.2
	計 (輸入)	42,866 (15,570)	98.4 (100.7)	94.1 (106.6)
輸出 (原糸、加工糸)		10,697	73.4	67.8
需要計		53,563	92.2	87.4
在庫		11,193	114.3	108.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2019年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	13,235	104.7	84.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	3,476	116.9	87.1
	計 (輸入)	16,711 (407)	107.0 (146.4)	84.6 (119.7)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		39,566	93.8	92.1
需要計		56,277	97.4	89.7
在庫		11,038	109.9	140.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量